

# 肢体不自由教育部門 小学部 重複 7 組 生活単元学習 学習指導案

日 時 令和 6 年 2 月 9 日(金) 第 6 校時 13 : 35-14 : 20

場 所 音楽室(N 2、N 3)

授業者 西水流 祐介(T1) 大井 喬介(T2)

## 1 単元名 「初春ってどんな季節」～植物を観察しよう！～

### 2 単元設定の理由

#### (1) 児童の実態

本学級は、第 5 学年男子 2 名で構成されている。2 名とも肢体不自由と知的障害を併せ有している。また、2 名とも医療的ケアを必要とし、うち 1 名は喀痰吸引が頻回なため看護師との協働が欠かせない。なお、個々の児童の実態は、次の表のとおりである。

児童名	生活全般での実態	単元に関わる実態
A (5 年男子)	<ul style="list-style-type: none"><li>・周りの動きを追視したり話を聴き、笑ったりすることができる。</li><li>・筋緊張が強く、不随意運動がみられる。</li><li>・教師や友達からの声掛けに、大きく口を開けたり、笑顔になったりして応じることができる。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・物や映像を顔の正面に提示することで、注視することができる。</li><li>・スイッチを提示すると、肘を伸ばし押すことができる。</li><li>・教師が選択肢を提示すると選びたいものを伝えることができる。</li></ul>
B (5 年男子)	<ul style="list-style-type: none"><li>・見聞きしたことについて、印象に残った単語や簡単な内容を覚えることができる。</li><li>・手指の巧緻性に課題があるが、物を自分で持ち、簡単な操作を一人で行うことができる。</li><li>・鉛筆を使って文字を書くことができる。</li><li>・キーボードの設定をかな入力で、ひらがなの文章を書くことができる。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・映像を見ながら、一緒に歌を歌うことができる。</li><li>・手元のカメラが撮っている映像をスクリーンに映すことで、ピントを合わせようとすることができる。</li><li>・観察結果をグラフに表したり、気付いたことを文章で書いたりすることができる。</li></ul>

#### (2) 単元観

生活単元学習では、季節の学習を題材として様々な教科等を合わせて学習している。季節の学習は、日本特有の良さを感じることができる。四季の学習は、暑さや寒さ、香りや色など、五感を通して様々な感覚から学び得ることができるので年間を通して実施している。また、生活単元学習は、実態差がある児童でもそれぞれのねらいを明確にすることで、各教科等の内容を個々の実態に合わせて学習することが有効だと感じている。児童は、本次までに春、梅雨、夏、秋、冬をテーマに学習をしている。

本次は初春をテーマに設定している。初春とは春の初めを意味し、正月のみでなく 3 月上旬辺りまでを表す言葉として使われる。まさに 3 学期の時期と同じであり、1 年間のまとめや次の年度へとつながるテーマとして適切だと考え設定した。

本単元で取り扱う植物として苺を選択した。苺を選択した理由は、A の保護者から A 児が食べることができていた時は、苺が大好きで抱えて食べていたという話を聞いたことがきっかけである。苺は香り

が強く、ジャムにすることでより引き立つ。好きだった苺を嗅覚で再び味わうことができるのではないかと考えた。また苺は、季節としても適切であり、花や実ができ、実は色の変化があり観察が視覚的にも楽しいことが理由の1つである。

本次の植物の育成方法はアクアポニクスを採用した。アクアポニクスとは、植物と魚を一緒に育成する方法である。魚にエサをやり育て、出したフンが水の循環により肥料となり、植物の栄養となる。これにより藻などが育つ原因となる余分な有機物を吸収し、綺麗な水が水槽に戻り循環するという方法である。室内で育成、観察ができるため天候に左右されることがなく、特別支援学校でも有効な植物の育成方法だと考える。植物の成長や観察だけでなく、環境の循環の学習や生物の世話や生命の尊さなど、総合的に学習する機会となるためこの方法を取り入れた。

### (3) 指導観

本学級の児童は2名とも感受性が豊かで、コミュニケーション能力が高くお互いを意識しながら学習に取り組んでいる。発表の場面では順番を主張したり、譲ったりするなど相手の気持ちを考えたり、自分の気持ちを伝えたりする時間も大事にしている。

Aは人の話をよく聴いていて、面白いことがあったら笑顔になるなど楽しいことが大好きで、表出が豊かである。その反面、受け身のコミュニケーションが多いので主体的に取り組める活動を取り入れた。本次は無線のスイッチを活用し、シャッターを押す活動を取り入れる。将来的には自分の意思とタイミングでスイッチを押し、何か伝えたいことがあれば人を呼べるような活動に繋がりたいと考え継続的に行っている。そのため、スイッチを今よりスムーズに押せることは重要である。

Bは話すことが得意で、自分の思いを相手に素直に伝えることができる。課題として、他者の気持ちを考えたり、落ち着いて活動したりすることが挙げられ、継続して学習している。本次ではWEBカメラを使って苺の撮影をする。撮影時には、Bがピントを合わせ、Aがシャッターを押す。BはAのシャッター操作を待ち、Bがピントを合わせ続ける。このような活動を通して、Bが高等部卒業時には落ち着いて周りの友達と協力して活動できるようになってほしい。また、Bが痰の自己吸引など繊細な動きができるようになるための練習にも繋がりたい。

以上のことから、季節の植物を児童と一緒に選び育て、繰り返し観察する経験を通して、自立活動や各教科等の力を伸ばしていきたい。

### (4) 学校課題研究との関わり

本校の研究主題「12年間を見据えた系統的・継続的な指導の充実 ～個別最適な学びにおけるICTの具体的活用～」との関わりから、日常的にパワーポイントを活用した授業を展開している。児童2名とも提示した映像などを注視することができ、映像や音楽への反応が良い。授業の導入として画像や映像、音楽などを使って期待感をもたせている。また、調べ学習で季節について検索し、気に入った画像をパワーポイントに貼り付けまとめている。本時では導入や流れの確認だけでなく、観察記録をまとめる場面でも活用する。Aは大きさが視覚的に分かるように、測った植物の大きさを棒グラフにして前回と比べる。Bは数字は分かるが、数が大きくなると大小が分からないことがある。そのため情報整理の学習も兼ね、折れ線グラフに測定した数値を入力し、前回の長ささと比べ記録をまとめる。

さらに、本時では個別に使用するICT機器として、Aはワイヤレスのスイッチを活用している。線がパソコンと繋がっていないので児童が押しやすい位置に設定できる。Aはやりたい気持ちが強くなれば強くなるほど、腕を引き込みやすく、引っ張るスイッチの方がAの動きにあっている。しかし、不随意運動との差を見極めるため、あえて腕を伸ばして押すタイプのスイッチを活用する。Bは植物の撮影

に WEB カメラを使用し、ピントを合わせることを担当する。WEB カメラで映している映像がスクリーンに映っていることが理解でき、カメラを動かし、被写体にピントを合わせようとするができる。このような活動を楽しみながら、苦手とする手指の巧緻性を高めることもできると考える。また、WEB カメラと無線スイッチを使うことで、被写体とスクリーンの両方を確認しながらシャッターを押すことができるのもメリットである。

### 3 単元の指導目標

#### (1) 単元の共通目標

- 季節について調べたり、植物を観察したりできる。 (知識及び技能)
- 季節の変化や特徴に気付き、教師と一緒に友達に伝えることができる。  
(思考力、判断力、表現力等)
- 季節の特徴を探したり、作品を見せ合ったりして友達と一緒に学習できる。  
(学びに向かう力、人間性等)

#### (2) 単元の個人目標

児童名	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
A (5年男子)	教師と一緒に調べたり、植物を観察したり作品作りに取り組むことができる。	教師と一緒に季節にあった作品作りに取り組むことができる。	友達や教師と一緒に季節について知ろうとすることができる。
B (5年男子)	自分で季節について調べたりワークシートにまとめたり、作品を作ったりすることができる。	季節について調べたことや感じたイメージを作品に表すことができる。	友達と一緒に積極的に季節について学ぼうとすることができる。

### 4 指導計画 (本時 六次 5 / 15 時間)

次	時数	主な学習内容	取り扱う教科等及び内容
6	15 時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>○初春について調べよう (1 時間)</li> <li>○初春を探しに行こう (1 時間)</li> <li>○初春の植物を育てよう (本時)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○小学部生活 2 段階 サ 生命・自然 <ul style="list-style-type: none"> <li>・初春の特徴や他の季節との違いについて知ること。</li> </ul> </li> <li>○小学部国語 2 段階 A 聞くこと・話すこと <ul style="list-style-type: none"> <li>・調べたことを教師と一緒にみんなに伝えようとする</li> <li>こと。</li> </ul> </li> <li>○小学部国語 2 段階 B 書くこと <ul style="list-style-type: none"> <li>・調べたことから伝えたいことを選んだり、書いたり</li> <li>すること。</li> </ul> </li> <li>○小学部生活 2 段階 サ 生命・自然 <ul style="list-style-type: none"> <li>・身の回りにある季節の植物や気候の変化などの特徴</li> <li>を見つけること。</li> </ul> </li> <li>○小学部国語 2 段階 A 聞くこと・話すこと <ul style="list-style-type: none"> <li>・季節の変化や特徴を探し、見つけたことをみんなに</li> <li>伝えることができる。</li> </ul> </li> <li>○小学部国語 2 段階 B 書くこと <ul style="list-style-type: none"> <li>・見つけたことから伝えたいことを選んだり、書いたり</li> <li>すること。</li> </ul> </li> <li>○小学部生活 2 段階 サ 生命・自然 <ul style="list-style-type: none"> <li>・育てている植物を観察し、成長や変化に気付き、そ</li> <li>れを教師と一緒に自分なりの方法で伝えようとする</li> <li>こと。</li> </ul> </li> </ul>

		○イチゴジャムを作ろう (1時間) ○節分の作品を作ろう (3時間)	○小学部算数2段階 A 数と計算 ・苺の実や葉の数を数えたり、長さを測ったりして前回と比べること。 ○特別活動 ・友達と一緒にジャムを作ること。 ○図画工作1段階 A表現 ・見つけた自然物と粘土を使い、ちぎったり貼り合わせたりして節分の飾りを作ること。
--	--	---	---

## 5 本時の学習

### (1) 本時の共通目標

○苺を観察しワークシートにまとめることができる。(知識及び技能)

### (2) 本時の個人目標

児童名	知識及び技能
A (5年男子)	教師と一緒に観察記録をまとめ、茎の長さや花の数の変化に気付くことができる。(算数)
B (5年男子)	茎の長さや花の数をまとめ、観察記録を入力して作成することができる。(算数)

### (3) 本時の展開

時間	学習活動	○個別の支援(手立て) ・指導上の留意点 ◇評価の観点 (T1~T2) …T1~T2の動き		備考
		A(5年男子)	B(5年男子)	
導入 10分	1 あいさつをする	○Aの表出を受け、号令をかける。(T2)	○授業の始まりを意識して姿勢を作るよう声掛けをする(T1)	・ホワイトボード ・模型マイク
	2 「いちごはいちご」を歌う	○サビの部分など、模型マイクを口元に当て合図をする。(T2)	○手拍子でリズムを合わせたり一緒に歌ったりする。(T1)	
	3 目標の確認をする	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">           めあて            苺の成長を観察記録にまとめよう！         </div>		
	4 前時の確認をする	○観察記録の棒グラフの部分に注目できるようアップして映す。(T1) ・棒グラフが苺の成長に合わせてどう変化していくのか確認する。	○折れ線グラフを映し、ペンで色や線を引き、数値やグラフの線の変化を強調する。(T1) ・苺が成長すると折れ線グラフはどう変わっていくのか確認する。	

展 開 30 分	5 観察をする	<p>○無線スイッチを手の可動範囲に提示する。(T2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・被写体がスクリーンに映った時に声掛けをし、良いタイミングを伝える。(T2)</li> <li>・押せた時は称賛し、反応を促す。(T2)</li> </ul> <p>○Bが実や花の数を数える時に、隣で一緒に数えて再確認する。(T2)</p>	<p>○苺がスクリーンに映るよう、WEBカメラの向きなど簡単な声掛けをする。(T1)</p> <p>○ピントが合わない場合は、教師がお手本を見せたり、一緒にやってみたりする。(T1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・被写体を画面中央に合わせるよう、左右など声掛けをする。</li> </ul> <p>○茎と定規を合わせ、数値を指さして読みやすくする。(T1)</p> <p>○実や花の数が数えやすいよう指さす。(T1)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・無線スイッチ</li> <li>・WEBカメラ</li> <li>・定規</li> </ul>
	6 観察記録をまとめる	<p>○Bが測った茎の長さを入力し、棒グラフにする。(T2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前時の記録と比べ、グラフがどうなったか確認する。</li> </ul> <p>○棒グラフの変化を比べるよう、大きくなったか小さくなったか質問する。(T2)</p> <p>○花や実の数を児童と一緒に確認し、観察記録に図を貼り付ける。(T2)</p> <p>◇観察記録をまとめ、前時との変化に気づき、教師の二者択一の間いに口を大きく開けたり笑顔になったりして、答えることができたか。</p>	<p>○折れ線グラフに数値が入力できるよう、再確認する。(T1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・折れ線グラフの変化が分かるよう、線がどうなっているのか質問する。(T1)</li> <li>・茎の変化は長さであることを確認する。(T1)</li> </ul> <p>○かな入力に設定する。(T1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・変化が見つけられるよう、各項目を見比べるよう声掛けをする。</li> </ul> <p>◇数値を正しく自分で打ち込み、苺のデータを観察記録に入力することができたか。</p>	
	7 発表する	<p>○グラフの変化が発表できるよう、アップにして映す。(T2)</p> <p>○口を大きく開けたら、入力した内容を教師が読み上げる。(T2)</p>	<p>○折れ線グラフの変化を発表できるよう、グラフをアップにして映す。(T1)</p> <p>○発表する部分を指さしたり、線を引いたりして分かるようにする。(T1)</p>	
ま と め	8 本時の学習を振り返る	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スクリーンに注目するよう声掛けする。</li> <li>・本時の目標を再確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スクリーンに注目するよう声掛けする。</li> <li>・本時の目標を再確認する。</li> </ul>	

5分		<ul style="list-style-type: none"> <li>・発表した部分を再確認し、良かった点を称賛する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発表した部分を再確認し、良かった点を称賛する。</li> </ul>	
9	あいさつをする	○Aの表出を受け、号令をかける。(T2)	○授業の終わりを意識し姿勢を作るよう声かけをする。(T1)	

## 6 本時の評価

### (1) 本時の共通目標に係る評価の観点

○それぞれの方法で観察記録をまとめることができたか。(知識・技能)

### (2) 本時の個人目標に係る評価の観点

児童名	知識・技能
A (5年男子)	教師と一緒に観察記録をまとめ、茎の長さや花の数の変化に気付くことができたか。(算数)
B (5年男子)	茎の長さや花の数をまとめ、観察記録を入力して作成することができたか。(算数)

## 7 備考

### (1) ICT 機器



①WEB カメラ



②無線スイッチ (Blue2)

### (2) スライド



スライド①



スライド②



スライド③



スライド④



スライド⑤



スライド⑥



スライド⑦



スライド⑧



スライド⑨

(3) アクアポニクス、いちご

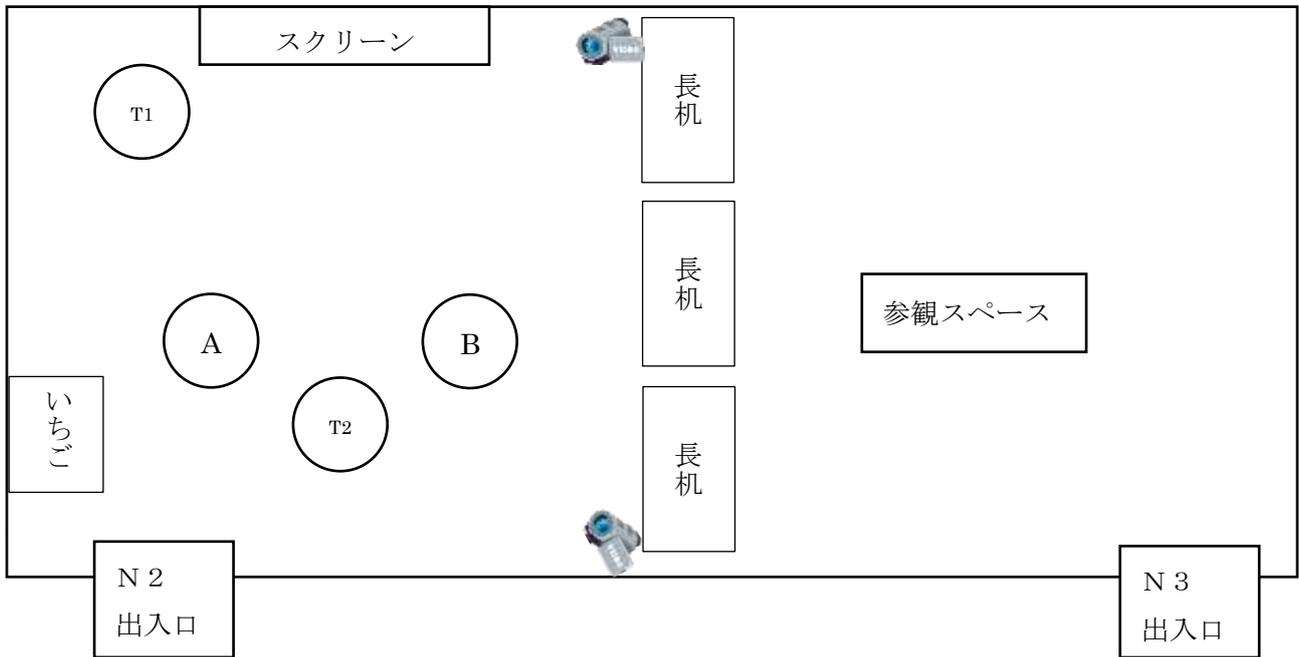


①アクアポニクス



②いちご (品種：章姫)

(4) 配置図 (N2、N3)



(5) 観察記録

月 日 名前 A児

目標 観察記録をまとめ、変わったところに気付く!

写真

大きさ

花の数

実の数

感想

①A児用

月 日 名前 B児

目標 高さや数を自分で入力して観察記録にまとめる!

写真

高さ

花の数

実の数

感想

②B児用